

## 研修Ⅱ 分科会C 「楽しみながら、習熟・活用を図るローマ字学習」(4年)

|     |          |         |
|-----|----------|---------|
| 司会者 | 東かがわ・本町小 | 教頭      |
| 提案者 | さぬき      | ・造田小 教諭 |

### 1 提案の概要

#### (1) 主張点の説明

- ① 学習指導要領の改定により4年生から3年生での指導になる→単元計画の工夫を行い、4年生の早い時期に指導し、継続指導により定着を図る。
- ② 知識・技能の習得、活用のために
  - ア ゲームを取り入れることにより、意欲化を図り、個に応じた習得を目指す。
  - ィ 関心のある「地名」や「人名」を取り上げ、日常生活での活用を図る。
  - ウ 継続的なワークシートやノート、フラッシュカードの使用により定着を図る。

#### (2) カード取りゲーム(地名)を10人グループで体験する。

### 2 成果

- ・ 身の回りのローマ字探しやいろいろなゲームを取り入れることで、興味をもって取り組み意欲も継続した。ゲームを教室に置いておくことにより、さらに親しめていた。
- ・ 授業で児童が集めたローマ字カードの掲示や、身近な地名や人名を扱ったことによりローマ字で書いたり地名を読んだりする機会が増え、活用につながった。
- ・ ゲームで自分が言葉を見つけていくことにより、ローマ字で書ける語句の増加が図れた。
- ・ グループで交流することにより、言語活動を苦手とする児童も楽しみながら学習することができた。

### 3 課題

- ・ どの児童も意欲的に取り組めたが、習熟や活用に個人差があるので、今後の継続指導が必要である。

香小研国語部会 提案

さぬき・東かがわ小研国語部会研究主題

**意欲化を図り，活用する力を育てる  
国語科学習**

～ 楽しみながら習熟・活用を図る

ローマ字学習 ～

さぬき市立造田小学校

# 1 主張点

## 主張点1 学習指導要領の改訂を受けて

〈ローマ字学習〉 第4学年→第3学年で指導

「ローマ字表記が添えられた案内状やパンフレットを見たり、コンピュータを使う機会が増えたりするなど、ローマ字は児童の生活に身近なものになっている。これらのことから、これまでは第4学年であったものを、今回の改訂では、第3学年の事項とし、ローマ字を使った読み書きがより早い段階においてできるようにしている。」（解説より）

→前期・後期で分けずに、4年生の早い時期に通して指導し、継続指導により、定着を図っていくことにした。

## **主張点2 知識・技能の習得, 活用のために**

- (1) ゲームを取り入れることにより, 意欲化を図り, 個に応じた習得ができるようにする。**
- (2) ローマ字としての活用頻度の高い「地名」や児童の関心の高い「人名」を取り上げることにより日常生活で活用できるようにする。**
- (3) ワークシートやノート, フラッシュカードなどを用いて, 継続的に練習させ, 定着を図る。**

**(1) ゲームを取り入れることにより、意欲化を図り、  
個に応じた習得ができるようにする。**

- しりとり、並び替え、カード取り、言葉集め、変身カード、フラッシュカード、コンピュータのキーボード練習など。  
→・個に応じた方法やペースでの習得  
・グループでの交流
- 授業で使ったゲームやコンピュータを教室に置いておき  
休み時間などに自由に使えるようにする。
- 児童が作った表現物を掲示し、常にローマ字に触れる  
環境をつくっておく。

(2) ローマ字としての活用頻度の高い「地名」や児童の関心の高い「人名」を取り上げることにより、日常生活で活用できるようにする。

○ 地名などで漢字の読み方が難しい場合、その下に書かれているローマ字が役に立つことがある。

→ 社会科の学習と関連させ、香川県や校区の地図と結びつけて、地名を読んだり書いたりしながら学習する。

○ 事前の実態調査から、「自分の名前をローマ字で書けるようになりたい。」という願いをもっている児童が多い。

→ 自分やクラスの友達の名前を読んだり書いたりする。  
(名刺作り)

(3) ワークシートやノート, フラッシュカードなどを用いて,  
継続的に練習することにより, 定着を図る。

- 学級の実態として, 漢字などの言語活動の習得を苦手とする児童が多い。
- 教科書配当時間のわりに, 習得すべき内容が多い。
  - 時間の確保・・・ドリルタイム, 国語の時間の初め  
家庭学習, 休み時間など
  - 方法……………ワークシートやノート, フラッシュカード  
コンピュータなど



## 2 授業実践

### (1) 単元計画の工夫

#### 東京書籍の教科書

9月に「ローマ字1」で「ローマ字で書かれた簡単な単語を読み, ローマ字を使って単語を書く。」

3月に「ローマ字2」で「身近な生活の中のローマ字表記について知り, ローマ字の読み書きに慣れる。」

学習指導要領の改訂の趣旨を受け, より早い段階でまとめて指導し, 継続的にドリル学習をすることにした。



**第1時** ローマ字の決まり, ローマ字の音の表し方

**第2時** 清音・濁音・半濁音の表し方, キーボードゲーム

**第3時** 長音・拗音・促音の表し方, 言葉集め

**第4時** 学習したローマ字表記で練習 (ゲーム等)

**第5時** 地名や人名など大文字を使う場合 (ゲーム等)

**第6時** ヘボン式について知り, 読み方の練習  
コンピュータでローマ字入力の仕方を練習

**第7時** コンピュータでローマ字入力し, 名刺を作る。  
(前山小・多和小との交流)

ドリル学習

## (2) 本時の授業 第5時

**本時の目標** ローマ字を使った地名や人名などの書き表し方を理解する。

**学習活動①** 身の回りのローマ字を探す活動を思い出す。



家や通学路で、  
ローマ字をたくさん  
見つけたよ。

ユニフォームに  
ローマ字で名前が  
書いてあったよ。





案内板の地名が  
ローマ字で書いて  
あったよ。



会社の名前や  
商品名もローマ  
字だったよ。



キャラクターの  
名前もローマ字  
だったよ。

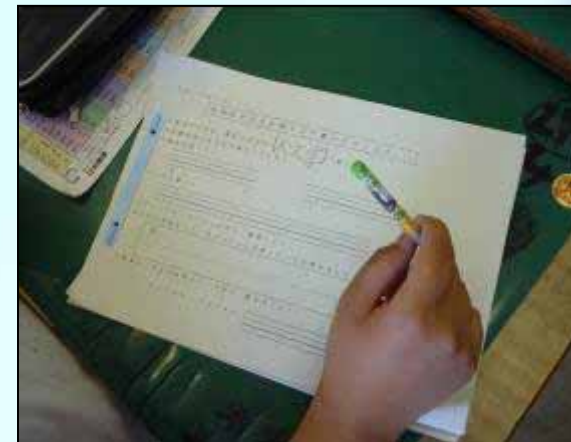




## 学習活動② 地名、人名の書き方を知る。

- ・最初の文字は大文字で書く。
- ・言葉全体を大文字で書くこともある。

Kagawa—ken      Sanuki—si



**学習活動③ グループでゲームをしながら、地名や人名の  
読み書きをする。**

**人名しりとり**

**Sirasawa→Wanaka→  
Kaito→ Toui→Ikeda→  
Daiki→Kisimoto**



**変身ボックス**

**言葉集め**



**Takamatu—si  
Higasikagawa—si  
Tokusima—ken**



## カード取り

ローマ字とひらがなを  
ペアにして取るよ。取っ  
たカードのローマ字を  
書く練習をするよ。

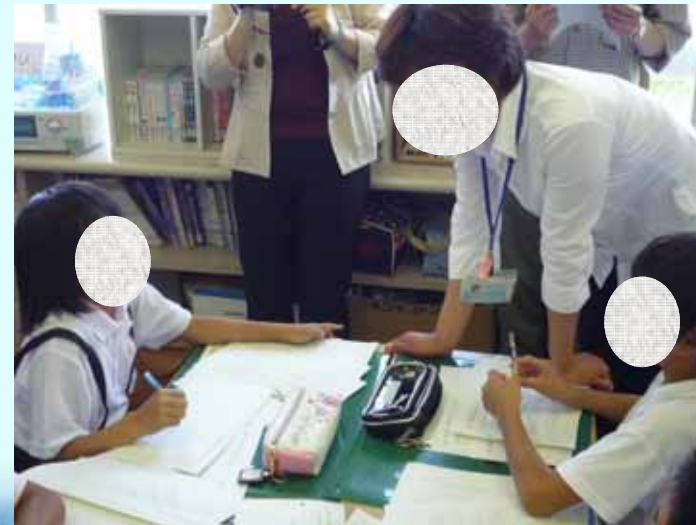
## 並び替え

ri

sa

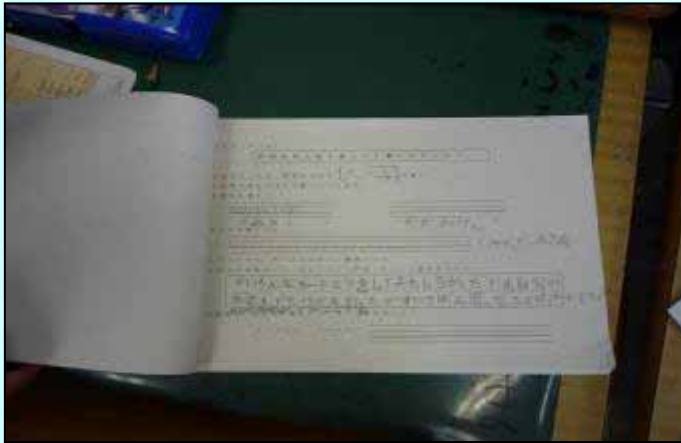
A

ヒント「水泳が得意な女の子です。」  
答え「Arisaちゃんです。」





## 学習活動④ 本時のまとめや振り返りをする。



地名や人名は、大文字で書き始めるんだね。  
造田の地名や友達の名前がたくさん書けたよ。



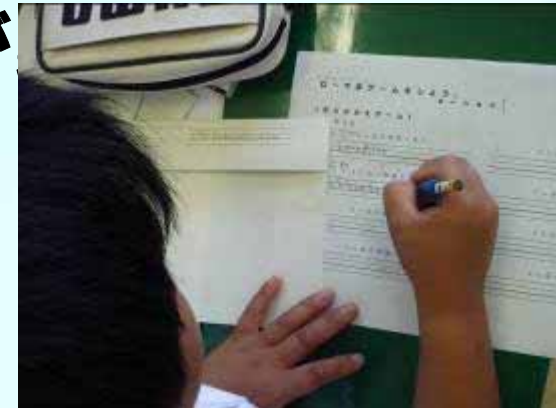
## **(2) 単元を終えての児童の感想**

- ・ 先生や友達の名前がローマ字で書けるようになってよかった。クラス みんなの名前を完ぺきにローマ字で書きたい。
- ・ ローマ字で地名や人名がいっぱい書けてよく分かった。ローマ字表を見ないでできるようになった。
- ・ 人名しりとりや地名しりとりは、難しかった。でも、みんな考えて作っていくのが楽しかった。
- ・ ローマ字で四国の地名をたくさん書くことができた。もっと多くの地名を書きたい。
- ・ コンピュータでローマ字打ちができるようになってうれしかった。

### 3 成果と課題

- 身の回りのローマ字探しやいろいろなゲームを取り入れることにより、興味を持って取り組み、意欲も継続した。
- 授業で児童が集めたローマ字カードを掲示し、ゲームを教室に置いておくことにより、休み時間を利用して、ローマ字ゲームを楽しむ姿が見られた。
- 地名や人名を扱ったので、ノートの名前をローマ字で書いたり、身近な地名を読んだりして、活用につながってきた。

- 与えられた言葉を書くだけでなく、ゲームで自分が言葉を見つけていくことにより、ローマ字の語彙力を高めることにつながった。
- グループで交流することにより、言語活動を苦手とする児童も楽しみながら学習することができた。
- △ どの児童も意欲的に取り組めたが習熟や活用に個人差があるので、今後の継続指導が必要である。





ご清聴ありがとうございました。

